

# 東北の認定企業を支援

優良産業廃棄物処理業者の  
全国ネットワーク構築を進め  
るエコスタッフ・ジャパン  
(EJ、東京都中央区)と  
その認定企業はネットワーク  
を活用し、東北地方の認定企  
業に対する支援活動を実施し  
ている。震災発生直後、燃料  
不足に悩む山形県の企業2社

エコスタッフ・  
ジャパン

に燃料を提供。また、大きな  
被害を受けた宮城県名取市の  
企業に発電機等を提供するな  
ど、様々な取り組みを行って  
いる。今後は災害時に、ネッ  
トワークを有効に活用するた  
めのマニュアル作りなども視  
野に入れるEJの取り組み  
取材した。(黒石修徳)

EJ認定企業では名取市  
のオイルプラントナトリ  
の施設が津波による大きな  
被害を受けた。また、直接  
の被災はなかったものの山  
形県に拠点を置くキヨシミ  
産研(山形市)とミツワ企  
業(山市)は施設を稼働  
させるための燃料不足に陥  
った。EJメンバーの支  
援活動としてはまず、燃料  
不足の知らせを受けた富山  
環境整備(富山市)が12日  
リトルタンクローリーで  
燃料を運搬することを決  
定。3月16・17日にかけて  
同社営業課の坂本孝弥氏が  
タンクローリーを運転、E  
SJの田部和生社長も同乗



山形県の認定企業に対し燃料提供を実施(写真はキヨシミ産研での給油)

## 燃料や機材提供

全国  
活用

2回目の燃料支援はさら  
に多くの認定企業が参加し  
て同月20日に行われた。ま  
ず福岡県筑紫市の筑紫環境  
保全センターが富山環境整  
備に対しタンクローリー2  
台を提供。また、大阪府高  
槻市の浜田は燃料を運ぶに  
当たり、ドラム缶20個を調  
達した。他にも補給基地と  
して名乗りを上げたところ  
などが何社あった。  
その後4月9日、大きな  
被害を受けたオイルフラン  
トナトリに対し、千葉県八  
千代市の東亜オイル興業所  
が発電機、軽油、ガソリン  
を提供。この他にも何らか  
の支援をしたいという声は  
認定企業から多く上がった  
という。

最初の支援活動について  
坂本氏は、「当時は現地に  
たどり付くのは困難ではど  
の見方もあった。実際は比  
較的スムーズに現地入りで  
きたものの、現地は大変な  
積雪で路面が凍結して動け  
なくなっただけでもあった。  
しかし、支援先では大変喜  
んでもらい本当に行って良  
かったと感じた」と振り返  
る。  
今回はこうしたケースを  
EJとして想定していた  
わけではなかったが、認定  
企業各社の自主的な行動で  
支援活動が実現した。田部  
社長は、「この経験を生か  
し、また災害が起きた際に  
ネットワークを活用できる  
仕組み作りを考えていきたく  
い」と話す。その一環とし  
てオイルプラントナトリの  
BCP(事業継続計画)の  
取り組みを共有する研修会  
もすでに開催している。ま  
た、今後要望があればネッ  
トワークを活用した災害廃  
棄物の処理にも協力してい  
く考えだ。